

JOYO BANK NEWS LETTER

平成 30 年 3 月 28 日

株式会社 常陽銀行

茨城県産果物のロシア向け輸出事業への支援について

常陽銀行（頭取 寺門 一義）は、このたび、茨城県産農産物のロシアへの販売ルートの確保を目的として北海道総合商事株式会社*（代表取締役 天間 幸生）と連携し、茨城県産果物のロシア向け輸出事業支援に取り組むこととしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、現在、地域商社機能の整備を進めておりますが、本件はこうした取り組みの一環として実施するものです。

第一弾として、茨城旭村農業協同組合（組合長 皆藤 茂次郎、以下「JA茨城旭村」）において銚田市のイチゴを試行的に出荷します。本試行結果を踏まえ、順次メロン等イチゴ以外の果物の輸出や、来年度のイチゴの本格輸出に取り組んでいく予定です。

今回の取り組みによって、北海道総合商事は果物に代表される茨城県の多種多様な高品質な農産物の仕入ルートを確認できるようになり、当行は今後立ち上げる地域商社の機能として、ロシアへの販路の拡大を実践することが可能となります。

当行は、今後とも、お客さま、地域の課題解決に向けた取り組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

*北海道銀行などが出資する地域商社

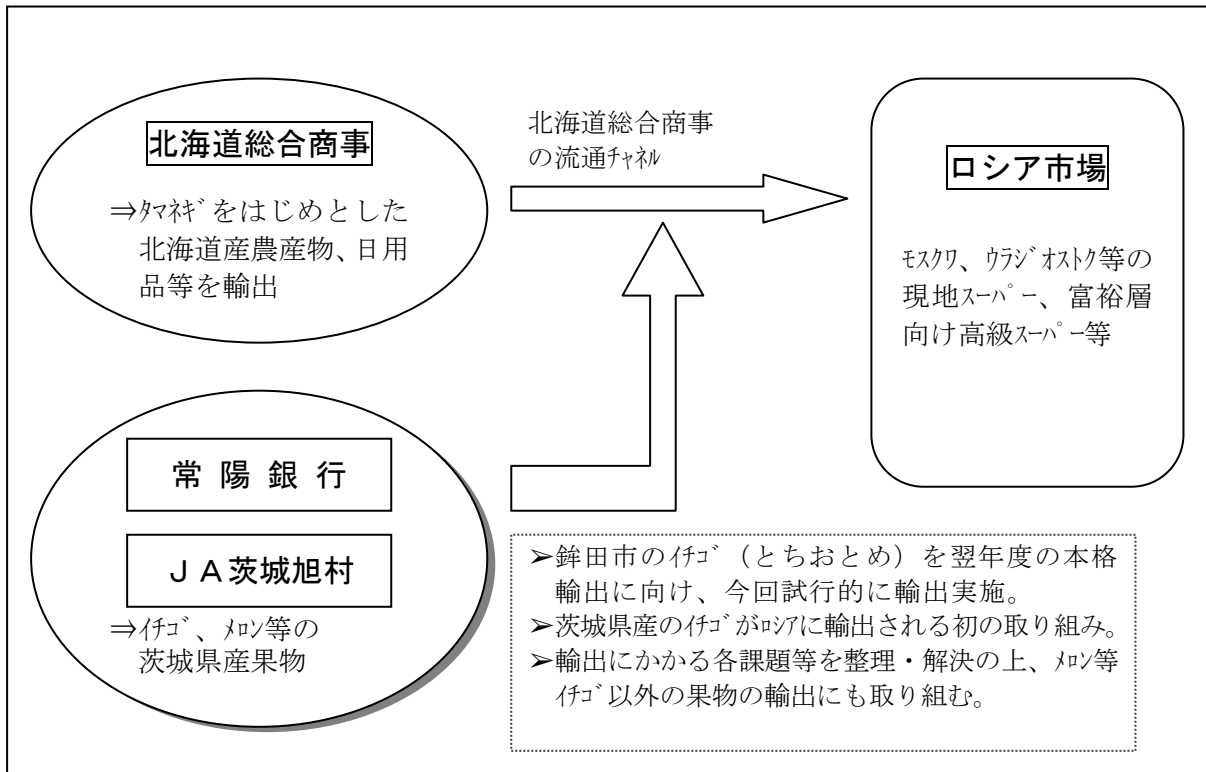
記

今回の取り組みの概要

取組項目	内容
輸出品目・数量	銚田市産イチゴ（品種とちおとめ）・約 250g×約 20パック
輸 出 先	ロシア（モスクワ市内高級スーパー等）
当 行 の 役 割	<ul style="list-style-type: none">・当行の「地域商社機能整備」に向けた取り組みの一環として、モスクワ市内の富裕層向けの販路開拓を進める北海道総合商事に対し、高品質な茨城県産果物（今回はイチゴ）の仕入先としてJA茨城旭村を紹介。・今後、イチゴに続きメロン等の輸出にも取り組み、取引品目・数量の拡大につなげる。

以 上

(参考1) 取り組みの概略図



(参考2) 輸出用イチゴのイメージ



(参考3) 北海道総合商事の概要

会社名	北海道総合商事株式会社
代表	代表取締役 天間 幸生
住所	北海道札幌市中央区南三条西六丁目3番2号
設立	平成27年10月30日
資本金	1億円
事業内容	地域商社事業